

マスクフィットテストのご案内

呼吸用保護具(マスク)の選定及び使用に関する法改正により
1年以内ごとに1度のマスクフィットテストの実施が**義務化**されました。

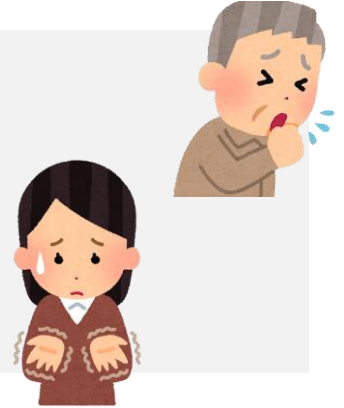
令和5年4月1日施行

溶接等作業時に発生する溶接ヒュームから
労働者の健康を守るために金属アーク溶接等作業を行う事業者は
マスクフィットテストを実施するようにしましょう。

溶接ヒュームを長年吸い続けるとどうなる？

- ①手足が動きにくい
 - ②ふるえ・こわばり
 - ③バランス能力の低下
 - ④じん肺
 - ⑤肺がん
- 進行性の神経難病

これら健康障害へのリスクが高くなります。



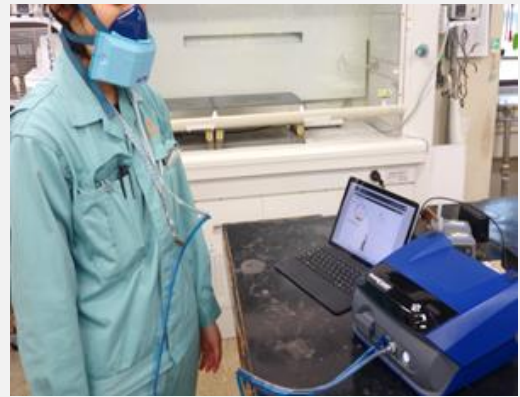
呼吸用保護具の重要性

マスクは呼吸時に有害物質が侵入することを防ぐ保護具です。顔にフィットしていなかったり、正しく装着できていないと、本来の性能が半減してしまいます。

1年以内に1度フィットテストを実施し⁽¹⁾

正しくマスクが装着できているか
マスクが顔にフィットしているか
確認することが重要です。

⁽¹⁾フィットテストの実施については改正特定化学物質
障害予防規則第38条の21 第7項で定められています。



フィットテストの実施状況

フィットテストは
TRCにお任せください

弊社では標準定量的フィットテストの約1/3の
時間で測定できる短縮定量的フィットテストの
実施が可能です。

マスクフィットテストについてのお問い合わせ・ご相談はこちら
西部営業部 Tel (0863)23-2620 東部営業部 Tel (0436)43-8931 大阪営業所 Tel (06)6681-5275
ホームページURL <https://www.mestrc.co.jp> お問い合わせ E-mail trcinfo@mes.co.jp



株式会社三井E&Sテクニカルリサーチ
Mitsui E&S Technical Research Co., Ltd.

作業環境測定機関登録 岡山労働局 第33-9号
作業環境測定機関登録 千葉労働局 第12-28号

測定方法について

JIS T8150に定める方法によりマスクの外側と内側それぞれの粒子数濃度を測定しフィットファクタ⁽²⁾を計算します。その値が右表の要求フィットファクタを上回っていれば合格となります。

(2)フィットファクタ = $\frac{\text{マスクの外側の粒子数}}{\text{マスクの内側の粒子数}}$

マスクの種類	要求フィットファクタ
全面形面体	500
半面形面体	100



使用機材:短縮定量的フィットテスト装置
Transtech社製 PortaCount8048

短縮定量的フィットテスト測定手順

本人確認及び注意事項説明 (約3分)

START

STEP 1

前屈(約1分)

つま先に触れるように腰を曲げ、
ふたたび立った状態に戻る

STEP 2

発声/駆け足(約1分)

使い捨て式マスクの場合は声出し、
取替式マスクの場合はその場で駆け足を行う

STEP 3

頭を左右に動かす(約1分)

右を向いて静止して息を吸い、戻しながら息を吐く
左を向いて同じ動作を行う

STEP 4

頭を上下に動かす(約1分)

上を向いて静止して息を吸い、戻しながら息を吐く
下を向いて同じ動作を行う

フィットファクタ
合格

フィットテスト記録表の発行 (3年間保管)

※記録表は後日発行いたします

フィットファクタ
不合格の場合

STEP 1
へ戻る

二度目以降
不合格の場合
マスクの再選定まで
サポートいたします

マスクフィットテストについてのお問い合わせ・ご相談はこちら
西部営業部 Tel (0863)23-2620 東部営業部 Tel (0436)43-8931 大阪営業所 Tel (06)6681-5275
ホームページURL <https://www.mestrc.co.jp> お問い合わせ E-mail trcinfo@mes.co.jp

